

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 2014 第2号

2014.8.20
第2回会議
基本計画を
評価する
の巻

平成26年度第2回目のきたかみ未来創造会議が8月20日に市民交流プラザにて行われました。

<当日の流れ>

まずは北上市政策企画課より開会の挨拶がありました。次に、本日の到達点の説明と前回のふりかえり、それから、「総合計画の評価の視点の共有」として、

- ・評価の位置づけについて、今回は指標をもとにそれぞれの施策がどのように進んでいるかを評価する回であること。
- ・指標の見方については、灰色に塗られている指標は参考とし、白色の指標を中心に評価していくこと等、情報共有がありました。

その後、6分野に分かれて90分のワークショップを行いました。

ワークシートを見ながら、それぞれの施策ごとの進捗状況を評価します。「青→順調 緑→おおむね順調 黄→やや遅れている 赤→遅れている」のいずれかを選び、それに対応した色の付箋にその理由を記入し、1人1枚ずつ貼っていきました。

指標の詳しい内容や数値などについては、市役所で担当しているサポーターさんに説明を受けながら、評価することができました。

全員が付箋を貼ったら、グループ内で意見をまとめ、グループとしての施策の評価を決めました。

皆さま、大変おつかれさまでした！
次回もよろしくお願いいたします。

<次回の会議について>

9月3日(水) 18:30~20:50

会場：市民交流プラザ

今回は、施策の評価を終了し、重点化施策の検討に移ってまいります。

※担当する分野の総合計画と現状の資料を事前に目を通していただくと当日、議論が行いやすくなります。可能な範囲で結構ですので、事前のご準備をよろしくお願いいたします。



開会の挨拶



皆で情報共有



分野別にグループワーク



最終評価のまとめ

<皆さんのふりかえりシート>

- ・評価指標への疑問がいろいろと出た。担当課の方が出席してくださってお話をうかがえて良い機会となったし、判断を助けて頂いた。評価指標の精度を少しずつ上げて頂く機会としてこの会議の意見を取り上げて頂けると参加しがいがある。
- ・はじめての会議出席でなかなか皆さんについて行けなかったが、中味の濃い話し合いが行われたと思います。
- ・未来創造の会議なので、指標の一覧も大事だけでもっと大きな創造（夢）がほしいのでは？と思いました。参加者の交流を図ってからやるとおもしろいのでは…？
- ・実際に「評価」の作業に入った途端、成果指標の設定のされ方の妥当性や数値が意味するもの（あるいは数値となって表れていない問題の存在）をめぐって自分を含め、困惑する人たちが多かったように見えた。
- ・意見を発表する場があることは良いと思う。
- ・お茶、軽食うれしい
- ・18時に開始してエアコンのある20時に終わるように。
- ・8時前早く終わってほしい。（エアコンが切れる）出せる個別データを出してほしい！
- ・冷房が効いているうちに終了してほしい。（開始時刻を30分早める等の工夫で）
- ・人数が少ない状況での評価は大変だと思った。
- ・4-1、4-2を評価したが、慣れないため評価するのに難しかった。
- ・指標評価は大変参考になりました。今後も積極的に参加してまいります。
- ・いろいろな意見が出て、参考になりました。
- ・意見出しをするという協力体制（気持ち）がよかった。適切なサポーターの助言よかった。ファシのきりもりよかった。指標で判断（評価）できないもの多かった。
- ・サポーターの説明があって、評価できる項目が多かった。
- ・指標と目標値の意味にどうしても気を取られ数値の評価がひっぱられる…。
- ・指標の説明に感謝。認識を整えられたようでした。総合計画に第3セクターの位置づけを（業務分析の見直し）評価、明示してみたいかが。
- ・グループ員の協力で終了することができました。ファシリテーターよりの風が良かった。
- ・全体デザインを改めて見て評価する機会だけど、下見してこないダメだね。
- ・内容の理解に時間がかかりました。新人でも分かるような説明をお願いします。どの資料も、パッと見ただけでは理解しかねます。
- ・30分遅刻してしまいました！指標評価をし、自分なりの意見を書いた。素朴な疑問であるが、数項をひとつの評価にするには無理がある項目がいくつかあった。無理にひとつにせず、単項で評価することも意味を持つとも感じました。
- ・今日の評価は、最初の「ならし運転」位の意味だろうが、早く「より適当な指標」の検討に入りたい。今とっては不適当な指標が増えているように思う。
- ・20時以降暑いですが！メンバーが濃くて、入っていくのが大変です。ただ、勉強になることが多いので、参加してよかったと思います。
- ・指標数値が変わった。全体を見て、合っているのか見直しをしたほうが良いのでは？
- ・評価する数値、不明な部分あった。説明なければわからない。
- ・判断指標から外したグレー項目はその判断材料（外した）も不明。しかも、委員ではなく市側で決めて良かったのかな？
- ・数値のみで評価することにやや疑問を感じた。また、前回サンドウィッチ等が大量に余っていたので、今回は何も食べずに来たら逆に無かったので、腹が減って仕方がなかった。
- ・話し合いながらの評価がよかった。見方によって逆にもなる。指標の検討も必要になってくる。サポートの説明が役立った。
- ・内容が多すぎました。市の担当者がグループにいて説明が長すぎたと思います。時間の使い方を検討しなくては…。
- ・お疲れ様でした。説明が下手すぎるので、練習はしてののでしょうか？聞いたことにかんしての、答えが返ってこないです。サポーターの方が参加していただきましたが、説明出来ないことも多く、意味があったのか…。何を基準にして、評価をしていただきたいのかがハッキリしません。指標に対しての数字が合っていません。これでは評価の前の問題です。
- ・普段生活していて感じている感覚と実際の指標数値とはかなり差があると感じました。
- ・全体評価すると昨年の評価は多少甘く、逆にもっと前進してほしい意味で多少キツイ評価にした方が良いと感じた。大事な将来の指針になるので！！
- ・1回目、2回目の各グループのディスカッション内容を発表以外に文書資料としてとりまとめてほしい。
- ・数値の上では良く見えるが、具体的な説明がほしい。
- ・色々な視点を吸収できたが、改めて暮らしに直結する最大の要因は雇用環境だと確信した。
- ・積極的に話し合えたと思います。